

# 小学校 算数

令和5年度  
全国学力・学習状況調査

## 調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する問題、切って開いた三角形を正三角形にするために開く前の三角形の角の大きさを書く問題などが出題されています。

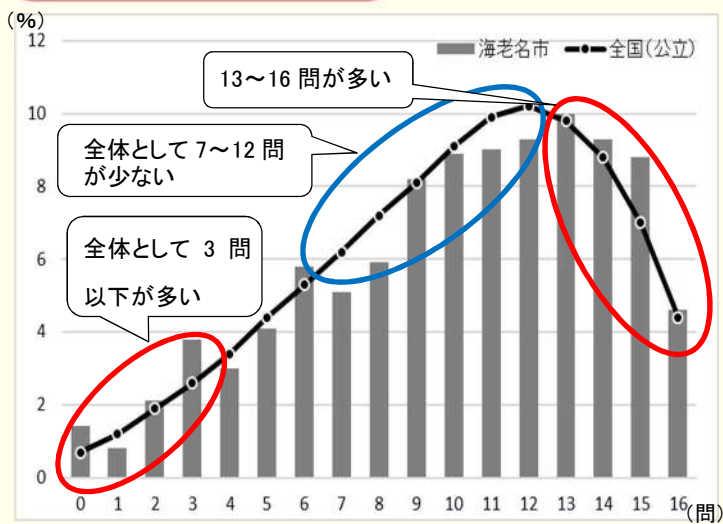
## 全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	62.9%	63.0%	62.5%	0.4
平均正答数	10.1問 /16問	10.1問/16問	10.0問 /16問	0.1

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

## 正答数分布グラフ

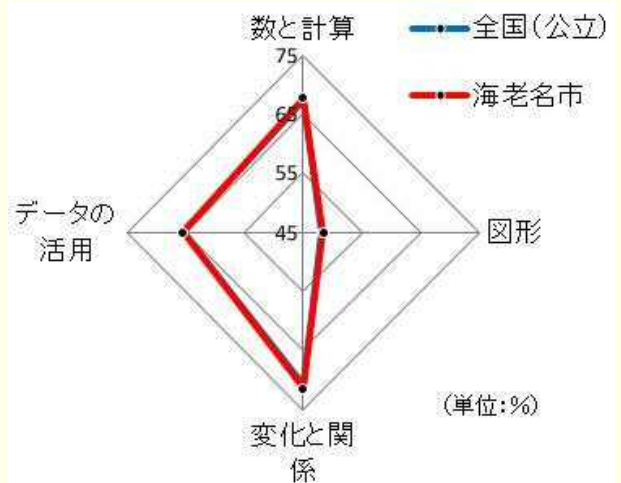
(横軸:正答数, 縦軸:割合)



\* 正答率 50%以下(0~8問)の児童の割合は、全国と比較してやや上回っています。

\* 正答率 80%以上(13~16問)の児童の割合は、全国と比較してやや上回っています。

## 学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、全国と比較して、同程度またはやや上回っています。

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と計算	6問	67.8	67.3	0.5	3.3	2.9	0.4
	図形	4問	48.4	48.2	0.2	3.3	2.8	0.5
	変化と関係	4問	71.4	70.9	0.5	2.1	1.9	0.2
	データの活用	3問	65.5	65.5	0.0	7.7	7.7	0.1
問題形式	選択式	5問	59	57.7	1.3	3.4	2.7	0.8
	短答式	7問	74.7	74.7	0.0	2.7	2.1	0.6
	記述式	4問	46.9	47.3	-0.4	6.0	6.3	-0.3

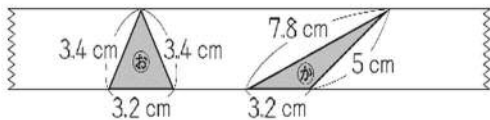
## 海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数を見ると、全国と比べて大きな差は見られません。
- 正答率が全国を上回った問題は、16問中9問です。また、正答率が80%以上の問題は、16問中3問(全国も3問)です。
- 問題形式から見ると、「選択式」の問題は全国の平均正答率を上回っていますが、「記述式」の問題は全国の平均正答率をやや下回っています。
- 無解答率が全国より高かった問題は16問中10問です。

## 全国の正答率と差が見られた問題の例

小学校算数のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。  
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

2 (4) テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。

趣旨 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる

正答は3 理由は省略

### ◇この問題の正答率

海老名市 18.2% 全国(公立) 20.8%  
(全国との比較 -2.6)

## 考察

- 正方形の意味や性質について正しく理解しています。作図や体験的な学習の機会を確保し、ICT機器等も活用して指導している成果と考えられます。
- 判断や考えの正しさを説明したり、グラフ等から読み取ったことを記述したりすることに課題があり、指導の工夫が求められます。

## 指導の改善にむけて

### ◆実感を伴って理解できるようにするために

- 等積変形等の操作活動を取り入れたり、他教科や日常の具体的な場面と関連づけたりしながら理解していくことができるよう指導します。

### ◆考えを記述できるようにするために

- 考えを自由に記述するだけでなく、記述の仕方や使用する用語を指定するなどの条件を設けて指導します。
- 課題がどこにあるのかを把握し、丁寧にフィードバックを行うなど、指導と評価の一体化を図ります。